

令和5年度第1回大阪府消防団充実強化研究会議事概要

日 時：令和5年5月24日（水）12時45分から13時15分

場 所：ホテルアウィーナ大阪 206号室

参加者：別添名簿のとおり

◆議題（1）研究テーマの設定について【資料1】

- 事務局より、資料1に沿って、
 - ・昨年度の大阪府消防団充実強化研究会の活動内容について説明。
 - ・今年度の研究テーマを「女性・若者」とすることを提案。

（主な意見）

- ・女性、若者、いずれも非常に重要なテーマである。一度に両方のテーマを進めた場合、どっちつかずになるのではないかと懸念。女性団員については、全国に比べて大阪府は加入率が低いというのがデータでも出ており、そのような状況を踏まえ、まずは女性団員について軸足を置いて検討を深めてはどうか。また、若者については、まずは現状分析から始めるという進め方でも良いのではないか。
- ・若者の定義が不明確なので、学生なのか、年齢で区分するのか、ターゲットを明確にしたほうが良いのではないか。

⇒今年度の研究テーマを「女性・若者」とする旨、メンバー了承。
また、若者の定義についても、WGにおいて検討することとした。

◆議題（2）ワーキンググループの設置について

- 事務局より、研究テーマが「女性・若者」になったことを踏まえ、「女性・若者ワーキンググループ」の設置について提案。

（主な意見）

- ・意見なし

⇒今年度の研究テーマを「女性・若者ワーキンググループ」を設置し、府職員に加え、目久保大阪府消防協会事務局長、女性消防団員連絡会議から数名で構成することとし、メンバー了承。座長より、寺浦大阪府消防保安課消防指導グループ長をワーキンググループ長に指名した。

◆議題（３）スケジュールについて【資料２】

- 事務局より、資料２に沿って説明。

（主な意見）

- ・ 女性、若者については、重要なテーマ。女性団員についても、消防団によって役割や配置の状況がさまざま。１年と決めてしまうのではなく、少し腰を据えて検討したいと考えるが、いかが。

⇒今年度については、資料２のスケジュールで取り組みつつ、「女性・若者」というテーマについては、議論の進捗状況を踏まえながら、１年と限定せず、腰を据えて取り組んでいくこととした。

◆議題（４）その他

- 議題（１）から（３）を通じて、自由な意見交換を行った。

（主な意見）

- ・ **WG** メンバーに若者を入れた方がよいのでは。
- ・ 現役の若い団員にヒアリングしてみてもよいのでは。
- ・ 防災関係に携わっている大学の先生やその講義を受けている学生などと、まずは現状について意見交換をしてみてもどうか。

⇒**WG** の構成員については固定化せず、検討の状況に応じて柔軟に対応していくこととした。
また、「女性・若者ワーキンググループ」において、**WG** に必要なメンバーについても検討することとした。

以上